

平成18年8月25日

5号機原子炉建屋における水漏れについて

当所5号機は定期検査中ですが、平成18年8月24日午前11時頃、原子炉建屋地下階において水漏れが発生しているとの連絡を、協力企業作業員より受けました。ただちに当社運転員が現場へ急行したところ、残留熱除去系*熱交換器(A)出口側配管に取り付けられた流量検出器のフランジ部からの漏えいであることを確認いたしました。

事象発生当時、熱交換器(A)出口側配管にある温度検出器取り替えにともなう耐圧試験のため、同配管内を試験圧力(4.8メガパスカル)まで上昇させておりました。このため、当該試験を中断し、同配管内の圧力を低下させたところ、当該フランジ部からの漏えいは停止いたしました。

これまでの調査において、当該フランジ部に取り付けられたパッキン部からの漏えいと推定されることから、当面の対策として、当該パッキンを新品に交換いたします。

今後、原因を調査いたします。

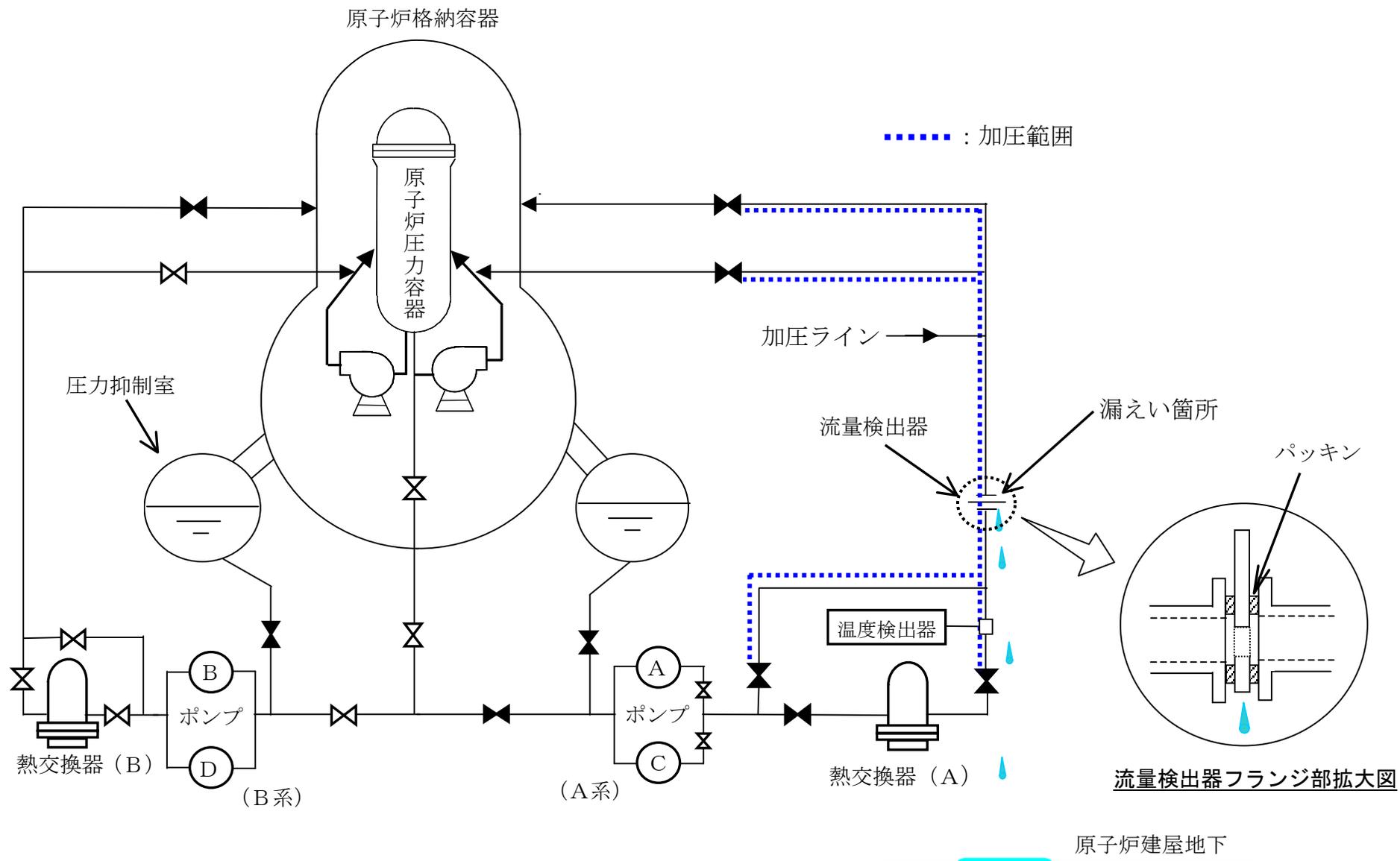
なお、漏えいした水の量は約7.1リットル、放射エネルギーは約 1.9×10^6 ベクレルで、拭き取りによる清掃を実施いたしました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 残留熱除去系

原子炉を停止した後の冷却(燃料の崩壊熱の除去)や非常時に原子炉水を維持する系統で、2系統(A系, B系)ある。



5号機残留熱除去系 系統概略図